



くまもと

県高生連新聞

小川工業50周年

創立50周年の
横断幕を掲げての
高校総体開会式



全校生徒による
創立50周年
記念の人文字



現在の
人吉高校校舎



100年前の
人吉高校校舎
(当時は県立人吉中学校)



人吉高校100周年

CONTENTS

- P2～3…… 令和5年度各地区指導者研究大会報告
- P4～5…… 我が校自慢 PTA会長編・県教委との教育懇談会報告
- P6…… 秋期研修会報告・九高P連大会熊本大会
- P7…… 学校紹介 高森高等学校・人吉高等学校 五木分校
- P8…… 熊本県PTA共済のご案内
生徒総合保障制度のご案内

2024
JANUARY

Vol. 55

中央地区／第二高等学校

令和5年10月7日(土)に嘉島町民会館ホールで、令和5年度中央地区公立高等学校PTA指導者研究大会が開催されました。この大会には中央地区の19校から135名の方々が参加されました。

開会行事では、県高P連の浅見秀樹会長、中央地区連絡協議会の村上正樹会長、第二高等学校の光永幸生校長からご挨拶を賜りました。また、表彰式では、社会教育功労表彰、知事表彰を受賞された県高P連前会長の夏木良博様と、社会教育功労表彰、教育委員会表彰を受賞された中央地区連絡協議会前会長の四海公貴様に対して、敬意と感謝の意を表しました。

開会行事後には、東稜高等学校教育友会と熊本工業高等学校保護者会から活動報告がありました。東稜高等学校教育友会からは、個性のある進学校を目指した育友会の活動取組として、「学校訪問」や「先輩社会人としての交流会」などが紹介されました。熊本工業高等学校保護者会からは、「進路指導とPTA活動」世代を超えて繋がる進路指導の活動取組として、進路指導4つの軸の、「資格取得」「卒業生の協力体制」「インターシップ」「修学旅行時の企業訪問」が紹介されました。



進路指導とPTA活動の世代を超えて繋がる進路指導の活動取組として、進路指導4つの軸の、「資格取得」「卒業生の協力体制」「インターシップ」「修学旅行時の企業訪問」が紹介されました。



活動報告に続き、4コマ漫画家の桜田幸子氏を講師に迎えて「私の中の心の引き出し」と題して講演がありました。様々な人との出会いの中で、心の引き出しを開けることができず今の職業に至ったことや、子育てのエピソードなど貴重な話をしていただきました。



開会行事では、次期幹事校である熊本北高等学校教育友会の西本彰文会長からご挨拶を賜り、指導者研究大会を無事に終了することができました。この場をお借りして、本大会の開催にあたり、ご指導ご協力をいただきました。関係者の皆様から感謝申し上げます。

城南地区／芦北高等学校



10月21日(土)、「城南地区PTA指導者研究大会」が100名を超える参加者のもと、芦北高等学校体育館において開催されました。

前年度幹事校の人吉高等学校からバトンを受け取り、それからの一年間は、大会の経験者がいないなか、何をどうすれば良いか? どうすれば最大のおもてなしが出来るのか? 先生方と育友会役員を中心に会議を重ねました。考えに考え、ふと浮かんだのが「これぞ芦北高校」を見れば良いということでした。

はじめのアトラクションでは、全国的に活躍している空手道部と新体操部の演技を観て頂きました。参加者の中には初めて観る方もおられました。大変感激したといううれしい言葉を多くの方から聞くことができました。

開会行事では、県高P連浅見会長、城南地区平野会長の挨拶に続き、本校の草野校長より歓迎の言葉が述べられました。また、水保高等学校PTAに対し令和5年度優良PTA文部科学大臣賞の表彰が行われ、会場全体が笑顔に包まれました。研究発表では、南稜高等学校育友会が「夢に向かう学び」球磨の地に人材の泉を掘る、八代工業高等

学校PTAがマスター・ハイスクールを通して進路指導とPTAのかかわりをテーマに発表して頂きました。参加者として学ぶことが多く考えさせられる内容でした。その後、本校空手道部のご指導をいただいている芦北海上塾塾長、釜辰信先生により「三位一体」と題して講演いただきました。お話しはユーモアにあふれ、笑いあり学びありの充実した時間になりました。



開会行事では、幹事校会長から参加頂いた皆さんへのお礼と併せ、県発表校として南稜高等学校が選ばれたことが報告されました。最後に、次年度幹事校の球磨中央高等学校育友会の猪野会長から挨拶をいただきました。大会を終りました。

結びに、大会にあたり、草野校長をはじめ、多くの先生方、生徒の皆さん役員及び関係保護者が致し方なく、皆様に最大限のおもてなしができたと思っております。この場を借りて、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

県立芦北高等学校育友会 会長 嶋田和文

城北地区／北稜高等学校



令和5年10月22日、熊本県立北稜高等学校体育館において「令和5年度城北地区公立高等学校PTA指導者研究大会」を本校育友会が幹事校として、138名の参加者のもと開催することができました。

開会行事では、玉名市長蔵原隆浩様、玉名市教育委員会教育長福島和義様、県PTA連合会副会長の亀崎清貴様をご来賓としてお迎えし、県高P連の浅見会長、城北地区の近藤会長からご挨拶をいただき、北稜高等学校の堀川校長が歓迎の言葉を述べられました。また、ご来賓を代表して玉名市長蔵原隆浩様からご挨拶の言葉をいただきました。

その後、前城北地区会長の中野様に熊本県社会教育功労表彰が贈呈されました。開会行事後の研究発表では、高森高等学校後援会と菊池農業高等学校教育友会からテーマである「進路指導とPTA活動」について、日頃のPTA活動及び学校や地域との連

携等についての実践発表がありました。講演では、株式会社エス・エス・齊藤代表取締役齊藤誠治様を講師として、「共に育ち、共に生きる。」青少年育成キャンプよりというテーマで齊藤様の活動の一つである「参勤交代・九州横断(豊後街道)徒歩の旅」をとおして子供達を取り巻く環境や現状、今の子供達に必要なもの、そのために親や大人が出来ることなど体験をとおしての実践報告を聞かせていただき、子供たちと正面から向き合うための良い参考となる内容のものでした。



開会行事では、城北地区近藤会長から地区代表校の発表、幹事校を代表して北稜高等学校教育友会の近藤会長がご挨拶の言葉を述べ、次年度幹事校である大津高等学校PTAの坂梨会長から来年度開催に向けた決意表明をいただきました。最後に、本研究大会を開催するにあたり、ご尽力いただいた全ての方々に對して、心よりお礼申し上げます。

天草地区／牛深高等学校

令和5年度天草地区公立高等学校PTA指導者研究大会を令和5年10月29日(日)に牛深高等学校で開催しました。各校から56名の方に御参加いただきました。

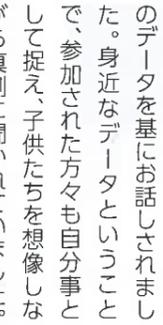


研究発表では、天草高等学校育友会より「生徒の意見から育友会活動を考える」アンケート「あまたかっぺ」など、子どもたちへのアンケートの結果を受け、天草という地域を好きでいてもらうために育友会としてできることとして、学校行事へ参加し子どもと話題を共有すること、学習会で知識を得て進路を一緒に考えること、受験生へメッセージ入りのプレゼントを贈ることなど、子どもたちの心に大切なものを残したいという愛情が込められた内容で温かい気持ちとなる発表でした。

その後、「未来を創る消費者の力」持続可能な社会形成のために」と題し、尚絅大学短期大学部総合生活学

科 岩下紀子教授による講演

会が行われました。消費者問題の概要や若年者がおかれている現状について、熊本県の近年のデータを基にお話しされました。身近なデータということ



で、参加された方々も自分事として捉え、子供たちを想像しながら真剣に聞かれています。この情報過多の現代で「事象を批判的に捉える力」を備え、その上で意思決定することが重要であることを考えさせられ、またこれを子供たちへ伝えていくべきだと感じました。

今回は、4年ぶりに御来賓をお迎えして通常開催ができたことや天草地区6校の絆と、地域全体で生徒を育てていくという強い想いに溢れた大会となりました。



九州・山口で生徒数ダントツNo.1!! JR熊本駅白川口正面 ●理事長・熊本校長 大久保 元 (元熊本高校校長)

既卒生対象
ESPゼミ
リベルテ
コレスポ
ハイブリッドV
2023 合格実績 正真正正、浪人生のみの実績です
227名 172名

北九州予備校 熊本校 0120-181509

我が校自慢

会長編

座右の銘
座右の銘に関する
エピソード
(掲載は順不同)
我が校最高の1枚

前号に引き続き
各校のPTA会長を紹介します。

熊本県立天草高等学校
育友会 島中 洋



何事にもチャレンジ
成功・失敗体験のすべてが今後の
糧となるから

熊本県立御船高等学校
育友会 星野 やよい



実るほど頭を垂れる稲穂かな
習い事の師範がこの言葉について
説いてくれ、謙虚に生きていくこと
を学んだ

熊本県立松橋高等学校
PTA 氏原 章子



なんとかなる
何もせずなんとかなる事はない、な
んとかなる為に頑張る

熊本県立球磨工業高等学校
育友会 濱松 盛一郎



心配するな、なんとかなる
前保護者会長に、この言葉で保護者
会長の誘いを受けました。

熊本県立阿蘇中央高等学校
育友会 二藤 恭栄



柔能制剛
柔道部で鍛われた日々を思い出します。

熊本県立熊本商業高等学校
育友会 夕川 桂子



貴方の笑顔が私の幸せ♡
周りの人を笑顔にする事が私の
使命です！

毎日ラッキーカラーの
オレンジ色の
体育担当：上田先生と正門

熊本県立熊本高等学校
育友会 中嶋 亜志火



而今
今を精一杯生きる。お酒も好きです。

熊本県立翔陽高等学校
育友会 内村 恵美子



challenge!
やらない後悔よりも、何事にも挑戦!

熊本市立必由館高等学校
必由会 若木 恵介



好きこそ物の上手なれ
部活動に取り組むわが子を見て感
じました。

熊本県立人吉高等学校
定時制 秀麗会 西 千穂



続けることが大事
辞めるのは簡単だが続けることは難
しいから。

熊本県立芦北高等学校
育友会 嶋田 和文



一期一会
なぜ、これなのか?と言うと
私が会長を引き受けた時決意したこ
とです。
一生に一度だけの機会、生涯に一度
だけしかないと考えて専念する意の
気持ちで^_^

熊本県立
八代高等学校・八代中学校
PTA 金橋 俊雄



一期一会
人との出会い、縁は大切にし
たいと考えています。

熊本県立上天草高等学校
育友会 篠田 良



人間万事塞翁が馬
高校時代に書籍で出会って以来、目
先の禍福はTPO次第と心がけ、気楽
に進むことを更新に伝えてきた。自
分も伴も紆余曲折あったが、結果的
に志望する路を進んでいる。

熊本県立第二高等学校
PTA 村上 正樹



自主積極
第二高校三綱領の一つで私も心掛
けています

熊本県立鹿本商工高等学校
育友会 財津 妙子



尊い命
私達は 魂に命を授かり生かされている

熊本県立八代東高等学校
PTA 池田 慶



行動と継続
成功している自分の姿を強く想像する

熊本県立球磨中央高校
育友会 猪野 仁以奈



一日一善
一日のうちに、少なくとも1つほか
の人のためになることをやる。それ
が積み重なれば、多くの善となる。
これを胸に、毎日頑張っています。

熊本県立南陵高等学校
育友会 平野 典幸



一笑懸命
いつどんな時も笑って頑張ろう!

熊本県立玉名高等学校・附属中学校
育友会 近藤 隆広



気力・体力・努力
どんな苦難・逆風にさらされても、
この格言をもって必ず乗り越えら
れるはず!

熊本県立矢部高等学校
育友会 坂本 裕之



なせば成る
何事も挑戦するが大切。

熊本県立小国高等学校
育志会 坂田 英之



6割で進み続ける!!
マラソンやトライアスロンをやっていたので
すが、頑張りすぎて途中でペースを上げたりする
より、6割でやり続ける時の方がいい結果が
ついてきてました。仕事も勉強も、しっかり計画
して6割で進み続けることにしています^_^

熊本県立湧心館高等学校(全日制)
育友会 松下 昭子



一期一会
いつ、どこで「親友」に出会えるかわからない
から、人との出会いは大切にしていきたい

熊本県立熊本北高等学校
育友会 西本 彰文



しない事が一番リスク
成功の反対は、失敗でなく何もしな
い事、現状維持も同様。

熊本県立天草高等学校倉岳校
育友会 原田 博文



生徒1人1人が主役
小規模校の特性を生かし、笑顔で成長
して欲しい

熊本県立玉名工業高等学校
PTA 熊川 賢一郎



人間なんて誰だってダメなんだ!
昔聴いてたバンドの曲の中の歌詞
...言葉自体はネガティブな感じだ
が、私の中ではずっとポジティブに
捉えられた言葉。完璧な人間なんて
いない。だからみんな努力してんだ
よ!だから夢を見れるんだよって

激励カレートのコマ

令和5年度 県教育委員会との教育懇談会

令和5年12月14日、白石教育長を始め関係各課に出席いただき教育懇談会を開催しました。この教育懇談会は高校教育への知見を広げ相互理解を深めることで本県高校教育の振興に連携して取り組むために、継続して実施されています。

始めに浅見会長が県高P連の活動について説明を行い、続いて県高P連から事前に出されていた質問と要望について教育委員会、各担当課より回答をいただきました。

その後フリートークでは「高校魅力化の推進について～高校と地域との連携～」をテーマに行われ、県高P連側からは学校と行政の連携の御礼、今後、協力をお願いしたいことを含め、参加した委員全員が活発に発言をし、有意義なフリートークとなりました。

最後に白石教育長より総括があり、中でも「高校魅力化については高校だけの問題ではなく、地方創生、地域との連携が大切。移住、安住を目標に地域づくりの一環として取り組む必要がある」とお言葉をいただきました。

家庭、学校、地域、行政の「強い結束・連携」が子供たちの「安心・安全、充実、成長」に欠かせないことを再認識した教育懇談会でした。



白石教育長



浅見会長



熊本県立高森高等学校



マンガ学科創設と同時に、普通科も普通科グループカル

高森高校は、昭和23年に創設され、今年で創立76年を迎えました。阿蘇南部地域唯一の県立高校として、地域の教育文化の中心を担い発展し続け、7千人を越える卒業生が様々な分野で活躍しています。

しかし、全国的な課題である少子高齢化の影響は大きく、本校でも入学者数が定員に満たない状況が続いていました。このままでは、阿蘇南部地域での高校教育の火が消えてしまうのではないかと不安を地域全体が抱えていた時に、大きなチャンスが巡ってきました。

全国「ユース等」で注目していた「マンガ学科」の創設です。地元の高森町とマンガ出版社の株式会社「マンガミックス」に全面協力いただくことで創設が実現しました。全国から漫画家を目指す多くの生徒が入学し、プロの漫画家や現役編集者による夢のような授業を受けて日々切磋琢磨しています。



「目の強みを活かし、一人一人が輝きを放つ学校」というスローガンのもと、PTA組織である高森高校後援会としても、生徒の輝き最大化を目指し、行事のサポートや生徒の安全確保などで全力応援していきたいと思っています。



探究コースとして生まれ変わり、地域課題の発見・解決をテーマとした地域密着の探究活動を行っています。また、一人一人の個性に応じた指導が受けられることにより、自らの夢の実現に近づけることができるといえる。この輝きが、学区内外からの入学希望者が増加しました。

今、高森高校は、以前の賑やかさを取り戻しつつあります。しかも、それは夢を持った子どもたちの集まる場となり、高校の輝きは過去最高です。

熊本県立人吉高等学校五木分校



大凧作成(五文祭)



保護者と一緒に大凧を作成しました。

本校は、昭和47年4月、五木東小学校を借用して開校しました。その年、11月には現在の五木源(ごきげん)パークの場所に、五木第中学校に隣接して校舎が建てられ、平成十九年には、五木中学校とともに、現在の新校舎に移転しました。新校舎は、中高連携のための共用棟設置や、校舎のユニバーサルデザイン化を図るなど、当時としては、最新の教育環境が整備されました。

令和4年度には、創立50周年を迎え、これまでに約710名の卒業生を送り出しています。人吉高校の三綱領「一、一人一人が輝く分校生」を教育スローガンに掲げて、五木村の豊かな自然環境の中、小規模校の特長を最大限に生かして、心豊かで調和のとれた社会に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。一人一人の個性と自主性を尊重し、地域と連携した多様な教育活動が実践されており、なかでも、今年



あいさつ運動(生徒会)



五木秀麗会総会(授業参観)

で11回目となった「五木村保小中高大運動会」は、学校と地域、保護者が連携した教育活動の象徴といえます。

本校PTAは、「五木秀麗会」という名称で、本校職員と協力しながらPTA活動に取り組んでいます。文化祭では、生徒と一緒に大凧制作に取り組み、長距離走大会では、うどんを作ったり生徒にふるまうなど、共に学校行事を作り上げていきます。これからも、地域に支えられながら、生徒、保護者、職員の連携を深めた教育活動を推進していきたいと思っています。

令和5年度 県高P連秋期研修会 報告



令和5年度「熊本県高P連秋期研修会・PTA実践発表会」が、11月25日に熊本市富合ホールにて開催され、県下公立高校PTA会員及び学校関係者、約150名が参加されました。

今年度は青少年の健全育成に係る研修会ということで、熊本少年鑑別所総括専門官 岡崎昌樹氏より「最近の少年非行の特徴～特殊詐欺と違法薬物乱用～」について講演をして頂きました。特殊詐欺の中にも様々な手口の詐欺があり、主に少年非行は受け子(被害者の自宅に貯金などを受け取りに行く者)・出し子(だましとったキャッシュカードを用いてATMから現金を引き出す者)が多いとの事でした。犯行動機も金欲しさからが圧倒的に多い様です。また薬物乱用については、30年前はシンナーで鑑別所に入ってくる少年が多かった様ですが、現在は圧倒的に大麻が多いとの事でした。初回の動機としては、興味本位や好奇心が60%以上でした。社会に適応出来ず、

ストレスや不安を抱え大麻に手を出す事も多い様です。私たち保護者も様々な犯罪に対する正しい知識を身につけなければいけないと改めて考えさせられる講演でした。

各地区代表校の実践発表では、天草高等学校育友会、熊本工業高校保護者会、南稜高等学校育友会、高森高等学校後援会の4校が、「進路指導とPTA活動」について、学校の取り組みやPTAとしての子供達との関わり方等の発表がありました。各校の工夫をこらした取り組みを知り、我が校にもぜひ取り入れたいと思いました。発表後、次年度に開催される九高P連熊本大会へ本県代表を選考する為の投票も行われ、南稜高等学校育友会が選出されました。代表校として、九高P連熊本大会を盛り上げて頂きたいと思えます。大会まで引き続き頑張ってください。

第68回九州地区高P連大会 いいね!発信 熊本大会

「いいね」から始めよう ～認める・つながる・楽しむ～

全世界を席卷した新型コロナウイルス感染症は、リモートワークやオンライン授業等、コミュニケーションの在り方を変化させ、人と人が直接対面する機会が失われました。この経験を通して、私たちは、五感を動員して互いを理解し、喜びや悲しみを共有するつながりの大切さを再認識したのではないのでしょうか。

3年間で緩んでしまった絆を結び直すために、まずは「いいね!」から始めましょう。九州の仲間が集い、顔を合わせ、考えて、笑って、「熊本に来てよかったー、明日からまた頑張るぞ!」と大きな「いいね」を押せる大会を目指します。大会は、九州8県の高等学校(特別支援学校を含む)PTA関係者2,500人の参加を目標に開催されます。分科会発表校(南稜高校育友会)、実行委員の皆さんが大会の準備に取り組んでいます。各単PIには、たくさんの皆さんの参加をお願いします。熊本大会を盛り上げていきましょう。

期日 令和6年6月21日(金) 熊本城ホール

日程	【午前の部】	
	分科会	第1分科会 「青少年の健全育成とPTA活動」 第2分科会 「進路指導とPTA活動」 第3分科会 「金融教育とPTA」
	【午後の部】	
	開会式/全体会	
	記念講演 講師	熊本大学理事(元熊本県教育長) 宮尾 千加子氏
	閉会式	

「やりたいこと」を、強く。 校は強し。

学校法人 開新学園 **熊本工業専門学校**

21世紀に求められる豊かな人間性と クリエイティブな人材育成をめざします

職業実践専門課程 全学科

自動車整備 工学科
80名

電気 システム科
40名

機械 システム科
40名

〒861-8038 熊本市東区長瀬東5丁目1番1号 TEL 096 380 8645 FAX 096 380 8646

電子メール info@kumakosen.jp ホームページ https://www.kumakosen.jp

0120-00-8645

熊本県PTA共済からのお知らせ (財)熊本県PTA教育振興財団

P災コース

小中学校の児童生徒	500円(年額)
高等学校の生徒	800円(年額)
部活動指導者	500円(年額)

安互コース

PTA会員(保護者・教職員等)	150円(年額)
PTA活動の指導者・支援者	150円(年額)

給付対象となるのは以下の通りです

P災コース 児童・生徒

- PTA活動に参加中の事故によるけが・急性の疾病(死亡、後遺障害、負傷、突然死、交通事故)
- 学校での事故によるけが・急性の疾病のうち障害が残るもの・死亡に至ったもの、交通事故、歯科保険外治療が必要なもの

安互コース 保護者(PTA会員)

- PTA活動に参加中の事故によるけが・急性の疾病(死亡、後遺障害、負傷、突然死、交通事故)
- 学校行事に参加中の事故によるけが・急性の疾病(死亡、後遺障害、負傷、突然死、交通事故)

熊本県PTA共済

P災コース 97%
(児童・生徒)加入率 約 R4年度県内加入者 (約184,000名)

安互コース 96%
(保護者)加入率 約 R4年度県内加入者 (約145,000名)

こんな時、**安心です!**

▼給付について「たとえばこんなとき…」

事故によるけがなどにあったとき
助けとなるのが**PTA共済**です

学校で、部活動で PTA活動で

詳しくはホームページをご覧ください

★手続きは各学校PTA共済担当者へご連絡ください。

熊本県PTA共済 検索

熊本県PTA教育振興財団 〒860-0842 熊本中央区南千反畑町3-7 熊本県総合福祉センター4F

ホームページ

熊本県PTA共済に関するご質問やご連絡

共済の対象となる活動の範囲、事故発生時の手続き、様々な手続きに必要な書類など、お気軽にお問い合わせください。

熊本県PTA教育振興財団事務局 (共済契約の手続):0800-200-5553 (共済金請求の手続):096-223-7119

熊本県公立高等学校
PTA連合会

生徒総合保障制度 保険金請求のご案内

もしもの時は、スピーディーに保険金をお支払いします!



デジタル保険金請求

ケガによる入院・通院 または 持ち物の損害は

オンラインで簡単請求

お手続きはこちらから →

<https://www.aig.co.jp/sonpo/service/contact/internet>



24時間365日 いつでも、どこでも受付けます!



簡単支払特急便

ケガによる入院・通院、病気による入院・手術で
10万円以下のご請求は

電話による事故報告のみ

専用ダイヤル

ケガの場合	0120-127-591
病気の場合	0120-956-971

受付時間 月～金曜日 9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご利用には条件がございます。ご利用条件とご利用方法は、お手元の加入者証でご案内します。*持ち物の損害は「学校管理下動産補償特約」が付帯されているプランの場合ご利用いただけます。

その他の保険金請求は… スクール事故受付ダイヤル(24時間受付)

通話料無料

0120-300-399

保険へのご加入等
のお問い合わせ先

保障制度担当代理店
株式会社コーリン

0120-228-553

受付時間:平日/午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セレス薬院5F

制度引受保険会社:AIG損害保険㈱、東京海上日動火災保険㈱、損害保険ジャパン㈱
ご加入の際は、パンフレットおよび重要事項説明書を必ずお読み頂いた上でお申し込みください。

S-230560 (2024-08)

編集後記

令和5年度も残すところ僅かとなりました。振り返りますと、ポストコロナ社会においては、学校生活やPTA活動が制限された中で、従来の延長ではない新しい生活様式や価値観などが生まれてきたと言えます。また、今年度は、学校や地域に以前の文化活動や歴史的行事が戻ってきたような感覚を覚えています。これからの歴史と伝統を守っていければと思います。

また、少子化時代へと突入し、避けずには通れない課題も山積する中で、「公立高校の魅力化」や時代に即した学校やPTAの在り方が議論の中心となっており、広報紙を通じて共感できれば幸いです。今とこれからの子供たちの為に、ともに活動してまいります。

本年度、55号の発行にあたり、ご協力をいただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

調査広報副委員長 大野 豊重

- 調査広報委員長 玉名真琴学校玉名高等学校附属中学校 育友会会長 近藤 隆広
- 調査広報委員 北稜高等学校 育友会会長 大野 豊重
- 翔陽高等学校 育友会会長 内村 恵美子
- 済々黉高等学校 同心会会長 荒川 慎太郎
- 熊本商業高等学校 育友会会長 夕川 桂子
- 芦北高等学校 育友会会長 嶋田 和文
- 顧問 玉名高等学校玉名高等学校附属中学校 校長 廣瀬 光昭